

2024年7月29日
Kudan株式会社

デジタルツイン用の製品向けパッケージを建設DX用途に改良し、 大手建設会社に提供

Kudanは、デジタルツイン用に提供してきた製品向けパッケージであるMMDK(モバイルマッピング開発キット)を一部改良して建設DX向けに技術アップデートを行い、大手建設会社をはじめとする建設業界への提供を開始したことをお知らせします。

製品向けパッケージは、顧客によるKudan技術の実用化を加速するため、Kudan独自の人工知覚アルゴリズム(Kudan SLAM)とセンサー・プロセッサ等のハードウェアを開発者向けにパッケージ化し、ソリューション開発を技術的にサポートするものです。これまで、デジタルツイン向けの製品向けパッケージは、手持ち型・バックパック型・車載型と、様々な環境やオペレーションに合わせて、複数のスタイルでパッケージングを行い提供を拡大してきました。

この度、建設業界のDXソリューションの開発に向けて、建設業界特有の現場環境の多様さを考慮し、複数のスタイルのパッケージ間の互換性を大幅に高め、統一の技術基盤で手持ち機器から車載機器、そしてドローン搭載機器までが一貫したデジタルツインを生成できるように改良を行い、提供を開始しました。この改良は、Kudanが多様なアプリケーション横断で技術を開発してきたことによる独自技術の汎用性と柔軟性によって実現されています。

既に、当製品向けパッケージは、大手建設会社から実際に受注が伸びて提供が進んでおり、建設業界のDXソリューション普及に向けて、業界のイノベーションを下支えしてまいります。

(今後の見通し)

本件による2025年3月期業績への影響は現時点では軽微と見込んでおります。今後開示すべき事象が生じた際は速やかに開示いたします。

【Kudan株式会社について】

Kudanは、人工知覚(AP)のアルゴリズムを専門とする深層技術の研究開発企業です。人工知覚(AP)は、人工知能(AI)と相互補完する技術として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudanはロボティクス・デジタルツイン・自動運転などを中心に幅広い次世代ソリューションに対して技術ライセンスを提供しています。

詳細な情報は、Kudanのウェブサイト(<https://www.kudan.io/jp/>)をご参照ください。

■会社概要

会社名:Kudan株式会社

証券コード:4425(東証グロース)

代表者:代表取締役CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)